

第6章 保守

- 6－1 保守の概要
- 6－2 工事名の設定〈工事データ〉
- 6－3 明細項目の設定〈明細データ〉
- 6－4 単位の設定〈単位データ〉
- 6－5 業種名の設定〈業種データ〉
- 6－6 発注先業者の設定〈発注先データ〉
- 6－7 テンプレートについて
- 6－8 グレードについて
- 6－9 部屋引当
- 6－10 建具マトリクス
- 6－11 建具品名
- 6－12 建具引当
- 6－13 デフォルト建具引き当て
- 6－14 設備シンボル引当
- 6－15 3D 部材引当
- 6－16 経費率の設定

6-1

「保守」の概要

『保守』は単価や原価、工事項目や明細項目、テンプレートなどを登録した「マスターデータ」を登録・編集する場所です。【見積作成画面】からも見積書を作成しながら明細項目の追加や、テンプレートの登録はできますが、修正や初期設定などの詳細な編集作業についてはここから行います。

上部【保守】タブをクリックすると、「マスター保守」ウィンドウが開きます。



上部メニュータブから各種設定に入ります。



POINT

【保守画面】では「元に戻す」ができません。

もし間違えて登録した場合は、保存をせずに一旦閉じて、再度【保守画面】を開いて登録し直してください。

6-2

工事名の設定〈工事データ〉

見積書の大項目となる「工事名」を編集します。

上部メニュー〈工事データ〉を開くと、工事名の一覧が表示されます。

Code	表示順序	工事名	工事コード
1	1	仮設工事	
3	2	基礎工事	

各項目の詳細

Code

工事項目に振られた番号。行追加をすると、自動的に振られます。(書き換え不可)

表示順序

【保守画面】〈工事データ〉タブでの工事名の並びや、【見積作成画面】プルダウン内の表示順序を設定します。

工事名

ダブルクリックで編集ができます。ただし、編集に関しては基本的に同じ内容の工事名称を変更する程度で、Code を入れ替える等はしないでください。

工事コード

「Code」とは異なります。基幹システムと連動する場合は、自社の工事コードをここに入力します。

数字で入力してください。アルファベット、日本語は不可。

このコードを設定する際のルールは特にありません。

基本操作

① 工事名称の変更

変更したい「工事名」でダブルクリックして直接入力します。

※ Code「0」の行には記入しないでください。

② 工事名の追加

「行追加」から行います。

※一番最後の行に空白行が追加されます。

③ 工事名の削除

削除したい工事名を選択して「行削除」をクリックします。

※複数行を削除したい場合は、ドラッグや「Shift」「Ctrl」を押しながら明細項目をクリックすると、まとめて選択できます。

Code	表示順序	工事名	工事コード
1	1	仮設工事	
3	2	基礎工事	
4	3	建方工事	
25	4	断熱工事	

編集が終わったら画面上部の「保存」を選択し、右上の「×」で閉じます。

6-3

明細項目の設定〈明細データ〉

見積書の内訳の最小単位である『明細項目』の一覧です。ここでは追加・編集・削除のすべての作業を行うことができます。【見積作成画面】から見積書を作成しながら追加・変更をすることも可能ですが、削除についてはここから行います。

上部メニュー〈明細データ〉を開くと、明細名の一覧が表示されます。

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

▼

明細項目は、1行で1セット

各項目の詳細

Lv	Code	表示順序	工事	工事CD	明細名	仕様/摘要	業種
----	------	------	----	------	-----	-------	----

Lv

設定不要。自動的に「99」が表記されます。

Code

明細項目に振られた番号。行追加をすると、自動的に振られます。（※ 書き換え不可）

表示順序

【保守画面】〈明細データ〉タブでの明細名の並びや、【見積作成画面】プルダウン内の表示順序を設定をします。

工事

セルをダブルクリックしてプルダウンから必要な工事名を選択します。

プルダウン内の工事名は〈工事データ〉タブで設定されています。

工事CD

選択した「工事」の工事番号が自動的に入ります。

「工事 Code」は〈工事データ〉タブで設定されています。

明細名、仕様/摘要、備考1、備考2

見積書や発注書に表記する内容を記入します。

業種

セルをダブルクリックしてプルダウンから必要な業種名を選択します。

発注書を作成する際に、発注業者を指示するために、一旦ここで設定している「業種」ごとに工事明細を振り分けます。プルダウン内の業種名は〈業種データ〉タブで設定されています。

業種CD	一式	単位	単価	原価	最低見積	最低実行	材	工	備考1	備考2	メモ	WIH引当-No	WIH引当式	積算根拠
------	----	----	----	----	------	------	---	---	-----	-----	----	----------	--------	------

業種 CD

選択した「業種」の業種番号が自動的に入ります。「業種 Code」は〈業種データ〉タブで設定されています。

単位

セルをダブルクリックしてプルダウンから見積書に表記する単位を選択します。

プルダウン内の単位名は〈単位データ〉タブで設定されています。

単価

見積単価（＝お客様出し単価）を入力してください。

原価

原価（＝発注単価）を入力してください。

最低見積

金額を設定しておくことで、単価×金額が設定金額に満たない場合でも、この最低金額を表示します。

最低実行

「最低見積」と同様に、発注金額にも設定できます。

材、工（・・・右図参照）

工事明細ごとに「材料費」として見るか

「工事費」として見るかをそれぞれ選択できます。

【見積作成画面】〈集計〉タブ内の「材 - 経費」と「工 - 経費」にそれぞれ数値(%)を入力し、経費として見積金額に反映することが可能です。

＜カンタン見積計画〈集計〉タブ＞

	見積金額	実行金額	粗利	利益率
工事金額	15,139,313	10,334,428	4,804,885	
諸経費 %	10.0	1,513,931		
社内経費1	0.0	0		
社内経費2	0.0	0		
社内経費3	0	0		
材-経費	0.0	0	0	
工-経費	0.0	0	0	
材工-経費	0.0	0	0	
計	16,653,244	10,334,428	6,318,816	
値引き	0	0		
計(税別)	16,653,244	10,334,428	6,318,816	37.94
消費税 %	10	1,665,324		
計(税込)	18,318,568			

WIH 引当 -No

設定不要。WIH 引当のナンバーです。

WIH 引当式

ウォークインホーム・プラスの積算数量を関連付ける時に記入します。

計算式を組んで面積 (m²) を坪換算したり、長さ (m) を本数に換算したりできます。

積算根拠

「WIH 引当式」の根拠を入力したり、積算の際のヒントなどをメモしておき、

【見積作成画面】に表示することができます。このコメントは見積書には出力されません。

6-3

基本操作

明細項目は横1列で1項目のセットになります。

① 明細名の変更

変更したい明細名をダブルクリックして
直接入力します。

※ Code「0」の行には記入しないでください。

② 明細名の追加

「行追加」から行います。

※一番最後の行に空白行が追加されます。

③ 明細名の削除

削除したい明細名を選択して「行削除」を
クリックします。

※複数行を削除したい場合は、ドラッグや
「Shift」「Ctrl」を押しながら明細項目をクリック
すると、まとめて選択できます。

工事データ ② 明細③						
データベース 基本編集 拡張 ツール						
Lv	Code	表示順序	工事	工事CD	明細名	仕様/備考
99	1	1	仮設工事	1	養生費	内部養生
99	7	1	仮設工事	1	発生残材処分費	産業廃棄物処
99	8	1	大工工事	5	額縁 取り付け	
99	9	1	建材工事	11	額縁	
99	10	1	大工工事	5	見切り材取り付け	
99	11	1	大工工事	5	天井 木下地石膏ボード	既存和室部分
99	12	1	建材工事	11	石膏ボード9.5mm	既存和室部分
99	13	1	建材工事	11	廻縁	既存和室部分
99	14	1	内装工事	15	壁・天井 ビニールクロス	
99	15	1	給排水設備	18	給水配管工事	キッチン
99	16	1	給排水設備	18	給湯配管工事	キッチン
99	17	1	給排水設備	18	排水配管工事	キッチン
99	18	1	給排水設備	18	機器接続費	キッチン
99	20	1	電気設備工	17	エアコンコンセント	※数量要確認
99	21	1	電気設備工	17	電気設備工事 (配線)	LDK電灯・コン
99	22	1	電気設備工	17	エアコン脱着	
99	23	1	美装工事	22	美装費	
99	26	1	建材工事	11	石膏ボード9.5mm	

POINT

各項目の表示順序

作業効率を上げるため、項目の並び替えも可能です。各項目は左ドラッグで入れ替えすることができ、
列については、項目をクリックすると昇順や降順で並び替えができます。

明細名をここに移動したい場合

Lv	Code	表示順序	工事	工事CD	明細名
99	1	1	仮設工事	1	養生費
99	7	1	仮設工事	1	発生残材処分費

左ドラッグで並び替え可能

Lv	Code	表示順序	明細名	工事	工事CD
99	1	1	養生費	仮設工事	1
99	7	1	発生残材処分費	仮設工事	1

Lv	Code	表示順序	工事	工事CD	明細名
99	1	1	仮設工事	1	養生費
99	7	1	仮設工事	1	発生残材処分費
99	8	1	大工工事	5	額縁 取り付け
99	9	1	建材工事	11	額縁
99	10	1	大工工事	5	見切り材取り付け
99	11	1	大工工事	5	天井 木下地石膏ボード貼
99	12	1	建材工事	11	石膏ボード9.5mm
99	13	1	建材工事	11	廻縁
99	14	1	内装工事	15	壁・天井 ビニールクロス貼
99	15	1	給排水設備工事	18	給水配管工事
99	16	1	給排水設備工事	18	給湯配管工事
99	17	1	給排水設備工事	18	排水配管工事
99	18	1	給排水設備工事	18	機器接続費
99	20	1	電気設備工事	17	エアコンコンセント
99	21	1	電気設備工事	17	電気設備工事 (配線及び器具取)
99	22	1	電気設備工事	17	エアコン脱着
99	23	1	美装工事	22	美装費
99	26	1	建材工事	11	石膏ボード9.5mm

部屋	明細名	仕様/摘要	積算根拠	一式	数量	単位	単価	金額	利益率	原価	実行予算	WIH引当式	備考1
部屋以外	仮設トイレ		<定数>	☐	1.0	式	43,200	43,200	30.56	30,000	30,000	1	
部屋以外	仮設電力・用水費		※延床面積	☐	116.8	m ²	200	23,360	25.00	150	17,520	\$3	
部屋以外	外部足場	くさび足場	※(1F外周長さ+	☐	274.0	m ²	1,200	328,800	25.00	900	246,600	(\$51+4)*7.1	
部屋以外	上棟 レッカー代		<定数>	☐	1.0	式	54,000	54,000	33.33	36,000	36,000	1	
部屋以外	内部足場		※延床面積	☐	116.8	m ²	270	31,536	25.93	200	23,360	\$3	
部屋以外	発生残材処分費	産業廃棄物処理(m ²)	※延床面積	☐	116.8	m ²	900	105,120	33.33	600	70,080	\$3	
部屋以外	美装費		※延床面積	☐	116.8	m ²	400	46,720	25.00	300	35,040	\$3	
部屋以外	片付清掃費	室内外片付清掃	※延床面積	☐	116.8	m ²	300	35,040	33.33	200	23,360	\$3	

ウォークインホーム・プラスとの数量連動について（「WIH 引当式」の設定）

ウォークインホーム・プラスから数量を連動させるには、ウォークインホーム・プラスの積算数量確認『No.(番号)』を「WIH 引当式」に入力する必要があります。

POINT

【保守画面】でも「WIH 引当式」を数式で変更・確認することができます。

変更したい WIH 引当式のセルをクリックし、上部メニューの「数式編集」をクリックすると「数式編集ウィンドウ」が表示されます。

※ WIH 引当式の数式例

詳細は 19 ページへ

※ 【見積作成画面】での数式編集ツール操作

詳細は 62 ページへ

<ウォークインホーム「積算数量確認」画面>

No	項目名	数量	単位
1	敷地 面積	0.00	m ²
2	建築 面積	64.59	m ²
3	延床 面積	116.75	m ²
1F	床面積	62.10	m ²
2F	床面積	54.65	m ²
3F	床面積	0.00	m ²
4F	床面積	0.00	m ²
5F	床面積	0.00	m ²
5F	最下層地下階床面積	0.00	m ²
5F	□外床面積	4.96	m ²
41	建ぺい率	0.00	%
41	容積率	0.00	%
72	施工面積	0.00	m ²
58	■ポーチ面積	0.00	m ²
58	■バルコニー面積	0.00	m ²
58	■吹抜面積	0.00	m ²
58	■□外小屋裏面積	0.00	m ²

<見積作成画面>

明細名	仕様/摘要	積算根拠	WIH引当式	数量
仮設トイレ		<定数>	1	1.0
仮設電力・用水費		※延床面積	\$3	116.8
外部足場	くさび足場	※(1F外周長さ+	(\$51+4)*7.1	274.0
上棟 レッカー代		<定数>	1	1.0
内部足場		※延床面積	\$3	116.8
発生残材処分費	産業廃棄物処理(m ²)	※延床面積	\$3	116.8
美装費		※延床面積	\$3	116.8
片付清掃費	室内外片付清掃	※延床面積	\$3	116.8

編集が終わったら画面上部の「保存」を選択し、右上の「×」で閉じます。

6-4

単位の設定〈単位データ〉

見積書を作成する際に使用する「単位」を設定します。

上部メニュー〈単位データ〉を開くと、単位の一覧が表示されます。

Code	表示順序	単位名	単位コード
5	1	m	
23	1	m3	
2	1	m ²	

各項目の詳細

Code

単位項目に振られた番号。行追加をすると、自動的に振られます。(書き換え不可)

表示順位

【保守画面】〈単位データ〉タブで単位名の並びや、【見積作成画面】プルダウン内の表示順序を設定をします。

単位名

ダブルクリックで編集ができます。単位名を登録します。

単位コード

「Code」とは異なります。基幹システムと連動する場合は、自社の単位コードをここに入力します。

数字で入力してください。アルファベット、日本語は不可。

このコードを設定する際のルールは特にありません。

基本操作

① 単位名の変更

変更したい「単位名」でダブルクリックして直接入力します。

※ Code「0」の行には記入しないでください。

② 単位名の追加

「行追加」から行います。

※一番最後の行に空白行が追加されます。

③ 単位名の削除

削除したい単位名を選択して「行削除」をクリックします。

※複数行を削除したい場合は、ドラッグや「Shift」「Ctrl」を押しながら明細項目をクリックすると、まとめて選択できます。

Code	表示順序	単位名	単位コード
5	1	m	
23	1	m3	
2	1	m ²	
12	1	p	

編集が終わったら画面上部の「保存」を選択し、右上の「×」で閉じます。

6-5

業種名の設定〈業種データ〉

発注書を作成する際に、見積書の明細を業種別に一旦振り分けてから、「業種」ごとに発注業者を設定していきます。この業種名は「明細項目」の中の「業種」にあたります。

上部メニュー〈業種データ〉を開くと、業種名の一覧が表示されます。

データベース			
保存	終了	行追加	行削除
基本編集			
Code	表示順序	業種名	業種コード
1	1	仮設	101
2	2	基礎	201
3	3	建方	301
4	4	断熱	401

各項目の詳細

Code

業種項目に振られた番号。行追加をすると、自動的に振られます。（書き換え不可）

表示順序

【保守画面】〈業種データ〉タブでの業種名の並びや、【見積作成画面】プルダウン内の表示順序を設定をします。

業種名

ダブルクリックで編集ができます。

Code は入れ替えず、基本的に同じ内容の業種名称を変更する程度の編集にします。

業種コード

「Code」とは異なります。基幹システムと連動する場合は、自社の業種コードをここに入力します。

数字で入力してください。アルファベット、日本語は不可。

このコードを設定する際のルールは特にありません。

基本操作

① 業種名の変更

変更したい業種名をダブルクリックして直接入力します。

※ Code「0」の行には記入しないでください。

② 業種名の追加

「行追加」から行います。

※一番最後の行に空白行が追加されます。

③ 業種名の削除

削除したい業種名を選択して「行削除」をクリックします。

※複数行を削除したい場合は、ドラッグや「Shift」「Ctrl」を押しながら明細項目をクリックすると、まとめて選択できます。

Code	表示順序	業種名	業種コード
1	1	仮設	101
2	2	基礎	201
3	3	建方	301
4	4	断熱	401
5	5	大工	501
6	6	屋根	601
7	7	板金	701
8	8	外装	801
9	9	防水	901
10	10	左官	1001
11	11	石・タイル	1101
12	12	建材	1201
13	13	外部建具	1301
14	14	内部建具	1401
15	15	塗装	1501
16	16	内装	1601

編集が終わったら画面上部の「保存」を選択し、右上の「×」で閉じます。

発注先業者名を登録しておくことで、作成した見積書から、各発注先への発注書を効率的に作成することができます。

上部メニュー〈発注先〉を開くと、発注先名の一覧が表示されます。

データベース				
保存	終了	DBオープン	行追加	行削除
グループ毎DB 基本編集				
Code	業種	発注順位	発注先名	業者コード
1	仮設	1	平成リース	1
1	仮設	2	昭和産業	2
1	仮設	3	大正リース	3
2	基礎	1	明治商會	4
3	建方	1	福岡建設	5
3	建方	2	長崎解体	6
3	建方	3	佐賀建設	7

各項目の詳細

Code

発注先項目に振られた番号。行追加をすると、自動的に振られます。（※ 書き換え不可）

業種

「業種」に対して、想定される発注先名をすべて登録します。

発注順位

【保守画面】〈発注先〉タブで業種ごとの発注先名の並びや、【見積作成画面】プルダウン内の表示順序を設定をします。

発注先名

ダブルクリックで編集ができます。発注先名（＝業者名）を登録します。

業者コード

「Code」とは異なります。基幹システムと連動する場合は、自社の業者コードをここに入力します。

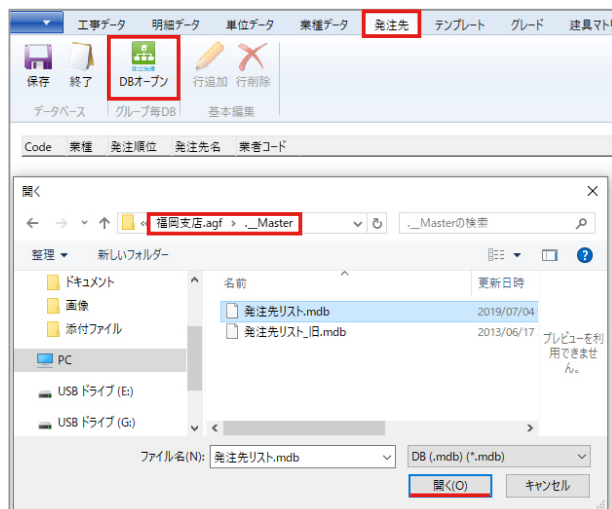
数字で入力してください。アルファベット、日本語は不可。

このコードを設定する際のルールは特にありません。

基本操作

発注先業者の設定を行うので、「DB オープン」→
「(グループフォルダ).agf」→「. __ Master」→
「発注先リスト .mdb」を開きます。

※【物件管理画面】の「01 グループ」を
支店や地域ごとなどで設定すると、それぞれに
発注先リストを設定することができます。



① 発注先名の変更

変更したい発注先名をダブルクリックして直接入力します。
※ Code「0」の行には記入しないでください。

② 発注先名の追加

「行追加」から行います。
※一番最後の行に空白行が作成されます。



③ 発注先名の削除

削除したい発注先名を選択して「行削除」をクリックします。
※複数行を削除したい場合は、ドラッグや「Shift」「Ctrl」を
押しながら明細項目をクリックすると、まとめて選択でき
ます。

POINT

いくつかの業種をまとめて1つの業者に発注する場合は、
それぞれの業種に「発注先名」とその「業種コード」を
登録します。

編集が終わったら画面上部の「保存」を選択し、
右上の「×」で閉じます。

Code	業種	発注順位	発注先名	業者コード
1	仮設	1	平成リース	1
1	仮設	2	昭和産業	2
1	仮設	3	大正リース	3
2	基礎	1	明治商會	4
3	建方	1	福岡建設	5
3	建方	2	長崎解体	6
3	建方	3	佐賀建設	7
4	断熱	1	福岡建設	5
4	断熱	2	大分基礎	8
5	大工	1	福岡建設	5
5	大工	2	宮崎木材	10
5	大工	3	鹿児島ブレカッ	11
6	屋根	1	福岡建設	5
6	屋根	2	高知工務店	13
7	板金	1	福岡建設	5
7	板金	2	山口建材	17
7	板金	3	広島建材	18

明細を最小の単位としたとき、それらの集合体を『テンプレート』と言います。テンプレートは明細や工事によって中身が異なってきます。【保守画面】ではこの「テンプレート」の追加・編集・削除などのすべての編集を行うことができます。【見積作成画面】からも見積書を作成しながら追加をすることも可能ですが、変更・削除についてはこちらから行います。

上部メニュー〈テンプレートデータ〉を開くと、テンプレート名の一覧が表示されます。

▼

工事データ

明細データ

単位データ

業種データ

発注先

テンプレート

グレード

建具マトリクス

建具品名

建具引当

デフォルト建具引当

設備シンボル引当

3D部材引当

経費率データ

保存

終了

行追加

行削除

CSVの貼り付け

データベース

基本編集

拡張

明細表示

新規テンプレート

テンプレート削除

工事	Lv	ID	大分類	中分類	小分類	テンプレート名
<部屋>	99	1000099	1 新築	部屋別	01 玄関	床:150角タイル+壁クロス
<部屋>	99	1000168	1 新築	部屋別	01 玄関	床:300角タイル+壁珪藻土
<部屋>	99	1000093	1 新築	部屋別	02 廊下	カラーフロア+クロス
<部屋>	99	1000094	1 新築	部屋別	02 廊下	無垢フロア+珪藻土

テンプレートの新規作成

※テンプレートの新規作成は【見積作成画面】でも可能です。

① 上段「新規テンプレート」をクリックして、テンプレート名一覧に行を追加します。

② 追加した行でダブルクリック、または「明細表示」で下段のテンプレート詳細編集画面を表示します。

③ 作成するテンプレートの工事タイプを選択してから上記同様の手順で、名称変更と明細項目の追加を行ってください。

④ 「閉じる」で終了します。

The screenshot shows the 'テンプレート' (Template) menu selected in the top bar. Below it, a toolbar contains icons for '保存' (Save), '終了' (End), '行追加' (Add Row), '行削除' (Delete Row), and 'CSVの貼り付け' (Paste CSV). A table lists existing templates with columns for '工事' (Work), 'Lv', 'ID', '大分類' (Major Category), '中分類' (Sub-category), '小分類' (Minor Category), and 'テンプレート名' (Template Name). A red box highlights the '新規テンプレート' (New Template) button in the top menu. A red arrow points from this button to a row in the table, which is also highlighted with a red box. A mouse cursor icon is shown double-clicking this row. Below the table, a detailed view of a template is shown, with a red circle around the '任意で編集' (Edit Arbitrarily) button. A red circle around the '閉じる' (Close) button in the top right corner of the detail view is also shown.

テンプレートの編集

上記同様の手順で、下段にテンプレートの詳細編集画面を表示します。基本の操作は下記ボタンで行います。

① 明細項目の追加

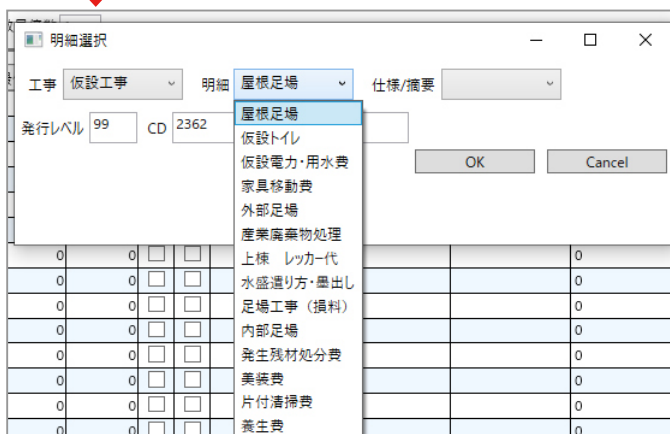
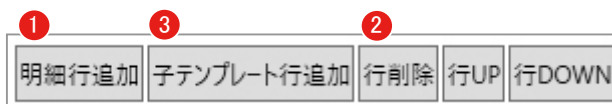
「明細行追加」をクリックすると
「明細選択」ウィンドウが開きます。
【見積作成画面】と同様に、「工事」から順に
プルダウンで項目を選択して、「OK」を
クリックすると、一番下に明細が追加されます。

② 明細項目の並び順の変更、削除

移動したい明細項目を選択した状態で
「行UP」「行DOWN」をクリックします。
不要な明細は「行削除」で削除します。

③ 子テンプレートの追加

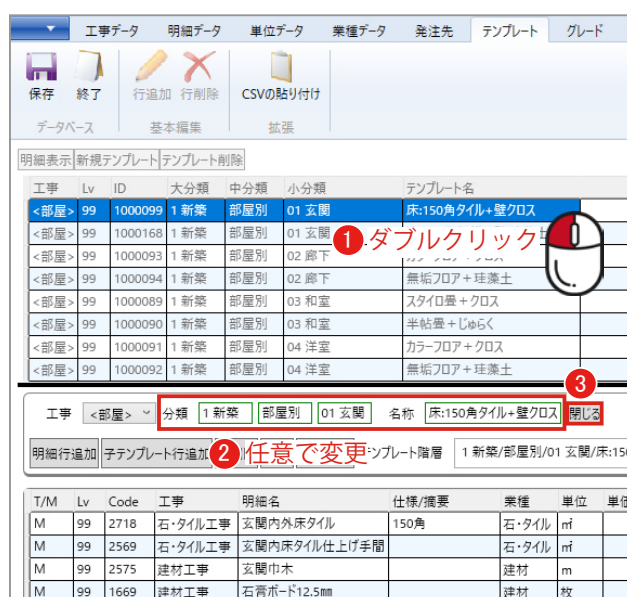
テンプレートの中に、明細項目を1つずつ挿入
するのではなく、他テンプレートから一括で
挿入する際にこのボタンから選択します。



テンプレート名の変更

上段のテンプレート名一覧で、
名称変更したいテンプレート名を①ダブルクリック、
または左上「明細表示」で選択します。

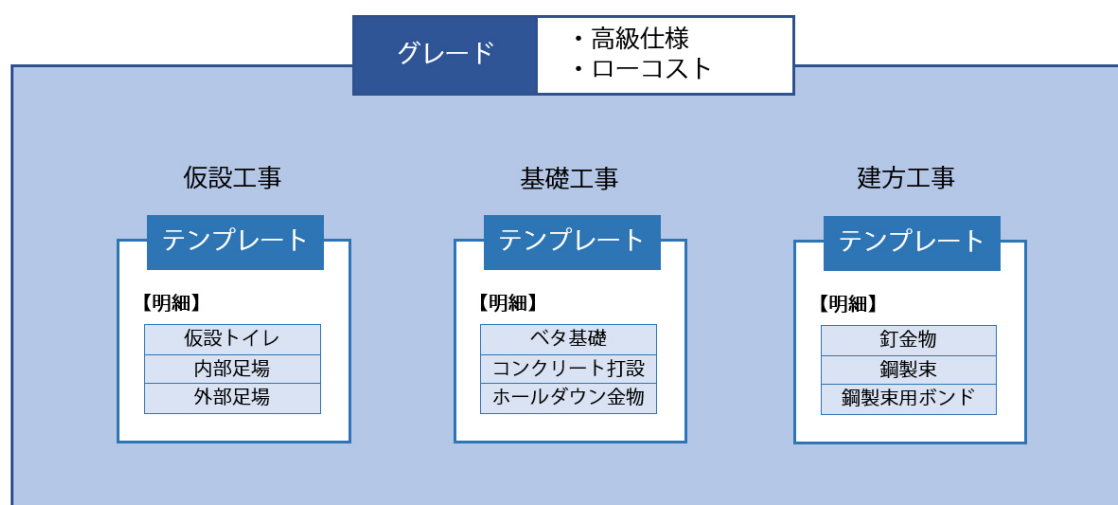
下段にテンプレートの詳細編集画面が表示されるので
②大・中・小分類名やテンプレート名を変更して、
③「閉じる」をクリックします。



編集が終わったら画面上部の「保存」を選択し、右上の「×」で閉じます。

ウォークインホーム・プラスからデータを取り込む際には「標準仕様」や「高級仕様」、「シリーズ」などの『グレード』を設定します。

このグレードは、工事別・部屋別テンプレート、建具品名引当の組み合わせを1つのグループとして設定します。各テンプレートを複数のタイプで作成し、組み合わせを変えることでいろいろなグレードを設定することができます。



登録済のグレードのテンプレートを変更

例：外装工事のテンプレートを初期設定の窯業系 14mmタイプから ALC 35mmタイプに変更

上部メニュー〈グレード〉を開きます。

- ① プルダウンから変更するグレードを選択すると、登録済のテンプレート名称が一覧で表示されます。

- ② 「外構工事」の項目の上でダブルクリックすると、テンプレート選択ウィンドウが開きます。

- ③ 大分類→中分類→小分類→テンプレート名称、の順にテンプレートを選択します。
(今回は「ALC パネル 35mm」を選択します。)

- ④ テンプレートにセットされた明細項目が表示されます。
「OK」をクリックすると、次回から「標準 (工事別)」で ALC35mmタイプが選択されるようになります。

テンプレートを変更する際に、明細項目を追加・変更する

※ここでも、テンプレートの編集ができます。

明細項目を編集したい場合は、「編集の許可」にチェックを入れると編集可能になります。

補足

「明細の追加」の利用方法

「明細の追加」をクリックすると、
右の明細項目の選択ウィンドウが開きます。
上部「明細の選択」から登録済の明細を選択して
「OK」でテンプレートに追加します。

もし、登録済の明細に必要な項目がない場合
ここで追加登録することができます。

- ① 「明細の修正」をクリックします。
- ② 明細項目が編集できるようになるので、明細・仕様等を入力します。
※ここでは登録済みの明細項目を変更する程度の登録になります。
- ③ 「明細の追加登録」をクリックすると、
新しい明細コードで追加登録されます。

新しいグレードを登録する

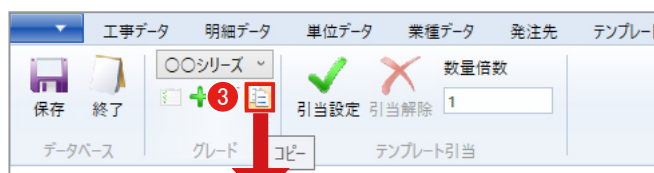
今回は新しいグレード名を登録して、すでに登録済の「標準 (工事別)」グレードの内容をコピーして
必要な箇所のみ部分的に変更していきます。

- ① 「新規グレード」をクリックすると、

右のウィンドウが表示されます。
グレード名を入力して「OK」をクリックします。

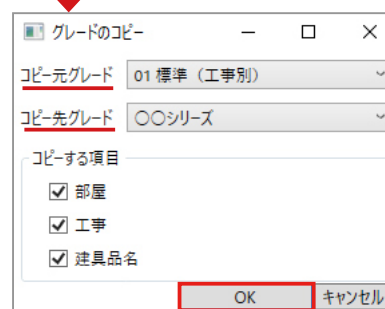
- ② 「グレード」選択のプルダウンに
名称が追加されます。

- ③ 「コピー」をクリックすると、



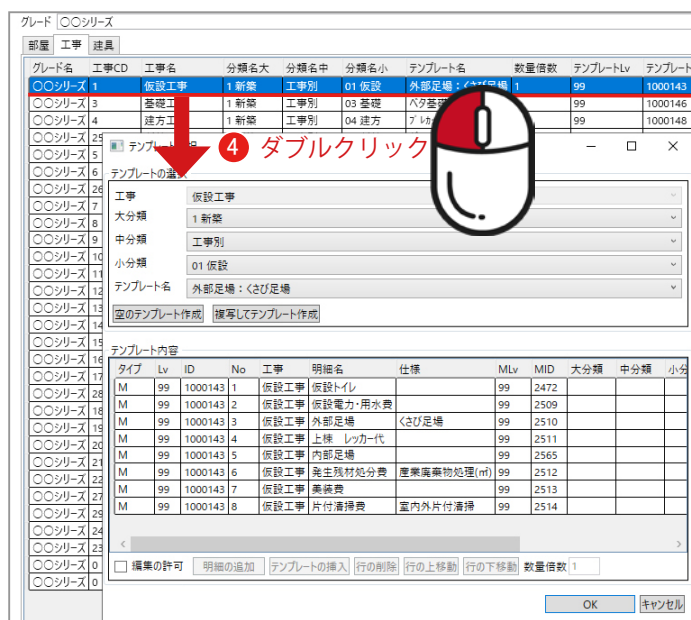
右のウィンドウが表示されます。

「コピー元グレード」「コピー先グレード」を選択したら、コピーしたい項目にチェックをして「OK」をクリックします。



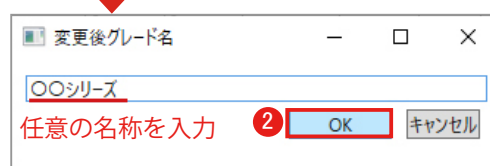
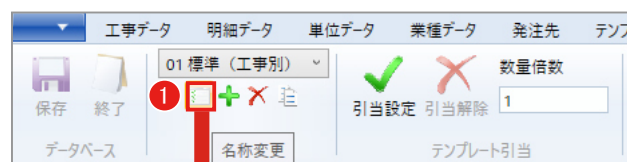
- ④ 「標準 (工事別)」グレードの内容が全てコピーされたので、工事テンプレート、建具詳細などの必要な変更を行います。

変更したい工事、建具品名をダブルクリックして変更してください。



既に登録したグレード名を名称変更

- ① 変更したいグレードを選択した状態で「名称変更」をクリックします。
- ② 「変更後グレード名」を入力して「OK」をクリックします。



リフォーム工事の際に、部屋ごとでテンプレートデータを紐づけていきます。

※【物件管理画面】より、《リフォーム》モードになっていないと〈部屋引当〉タブは表示されません。

上部メニュー〈部屋引当〉を開くと、部屋別の一覧が表示されます。

グレード名	部屋タイプ	部屋タイプ名	分類名大	分類名中	分類名小	テンプレート名	数量倍数	テンプレートLv	テンプレートID
<リフォーム>	1	玄関					1	0	0
<リフォーム>	2	廊下					1	0	0
<リフォーム>	3	和室					1	0	0

基本操作

- 1 部屋の上でダブルクリック、または上部メニュー「引当設定」をクリックすると、テンプレート選択ウィンドウが開きます。
- 2 大分類→中分類→小分類→テンプレート名称の順にテンプレートを選択します。
- 3 テンプレートにセットされた明細項目が表示されるので、「OK」をクリックします。

タイプ	Lv	ID	No	工事	明細名	仕様	MLv	MID	大分類
M	99	1000099	1	石・タイル工事	玄関内外床タイル	150角	99	2718	
M	99	1000099	2	石・タイル工事	玄関内床タイル仕上げ手間		99	2569	
M	99	1000099	3	建材工事	玄関巾木		99	2575	
M	99	1000099	4	建材工事	石膏ボード12.5mm		99	1669	
M	99	1000099	5	内装工事	壁ビニールクロス貼	材工 下地処理共	99	139	
M	99	1000099	6	建材工事	石膏ボード9.5mm		99	26	
M	99	1000099	7	内装工事	天井ビニールクロス貼	材工 下地処理共	99	171	
M	99	1000099	8	建材工事	玄関収納		99	50	
M	99	1000099	9	建材工事	玄関カマチ L=1950		99	2570	
M	99	1000099	10	電気設備工事	照明器具(和室)	OL251084	99	2571	
M	99	1000099	11	電気設備工事	照明器具(和室)		99	2571	

テンプレートを変更する際に、明細項目を追加・変更する

明細項目を編集したい場合は、「編集の許可」にチェックを入ると編集可能になります。

6-10 建具マトリクス

ウォークインホーム・プラスで入力した建具の連動設定を行います。

《新築》モードでは、「建具引当」方式と「建具マトリクス + 建具品名 + デフォルト建具品名」方式のどちらかを選択します。この「建具マトリクス」では建具形状、建具の幅・高さの条件から引き当ての設定をします。その際にサッシのカタログなどで見える『マトリクス表』を用いて拾い出しを行い、マトリクス表から明細項目を自動作成します。

マトリクス表と見積書の明細項目の表記

上部メニュー〈建具マトリクス〉を開きます。

左上「メーカー」「商品」「建具形状」をプルダウンから選択し「切り替え」をクリックすると、現在設定されているマトリクス表が開きます。

The screenshot displays two windows from a software application. The top window, titled '建具マトリクス' (Furniture Matrix), features a header bar with tabs: '工率データ', 'メーカー', '商品', '建具形状', '発注先', 'テンプレート', 'グレード', '建具マトリクス', '建具品名', '建具引当', 'デフォルト建具引当', and '設備'. Below the header, there are dropdown menus for 'メーカー' (set to LIXIL), '商品' (set to サーモスII), and '建具形状' (set to 引違戸2枚). A '切り替え' (Switch) button is also present. The main area of this window is a table with columns for '呼称' (Designation), '以上' (Above), '未満' (Below), and several numerical columns. The bottom window, titled '見積書' (Estimate), shows a list of items. The columns include '部屋' (Room), '明細名' (Detail Name), '仕様/摘要' (Specification/Summary), '積算根拠' (Calculation Basis), 'WIH引当式' (WIH Allocation Formula), '数量' (Quantity), '一式' (One Set), '単位' (Unit), '単価' (Unit Price), '金額' (Amount), '利益率' (Profit Rate), and '原' (Original). Red and green arrows indicate the flow of data from the '建具マトリクス' window to the '見積書' window. A red arrow points from the 'メーカー' dropdown to the '明細名' column, and a green arrow points from the '商品' dropdown to the '仕様/摘要' column.

上記のように、マトリクスを設定しておくことで建具形状、建具の幅・高さから明細項目を作成し、金額を選択します。「建具マトリクス」設定は、付属のエクセルデータで作成して取り込むことができます。

POINT

付属品を設定したものが拾われた場合、「呼称」の次に表記され、サッシ+付属品の金額が表示します。また、雨戸に関しては、ウォークインホーム・プラスでシャッターが入力された際に拾い出します。

取り込み方法

「建具マトリクス」の作成はエクセルを利用して行います。（※保守画面で直接作成も可能です）

「Cドライブ」→「カンタン見積計画」→「Master」
→「建具マトリクス設定エクセル」から
『建具マトリクス設定用(16°ソート).xls』を開きます。

① 「基本設定」シートを開きます。

ここでは見積書を作成したときに【仕様/摘要】欄になる「メーカー名」と「商品名」を記入します。
※網掛けをした部分は入力しないでください。

② 設定する建具形状のシートを開きます。

③ 「呼称」欄に、W,Hそれぞれの呼称を入力します。

④ 各呼称で拾い出す建具サイズの範囲を指定します。

⑤ サッシやその付属品の金額を入力します。

※内部建具（木製建具）も同様に設定します。

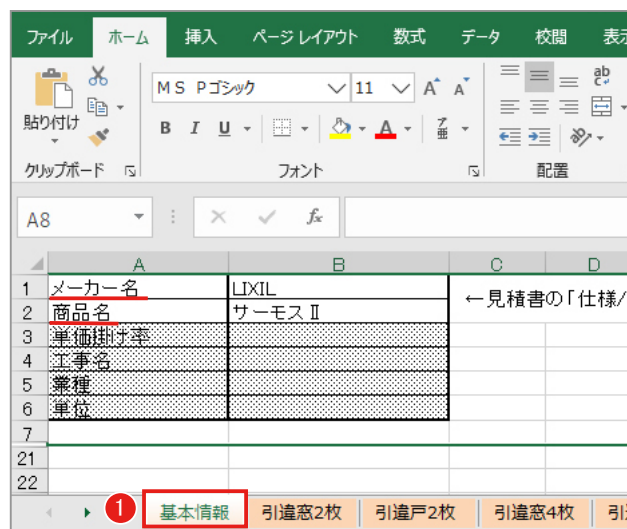
仕様欄に記入する内容をメーカー・商品・呼称欄を使って記入します。

⑥ 【保守画面】「建具マトリクス」画面上部メニューより、「取り込み」をクリックします。

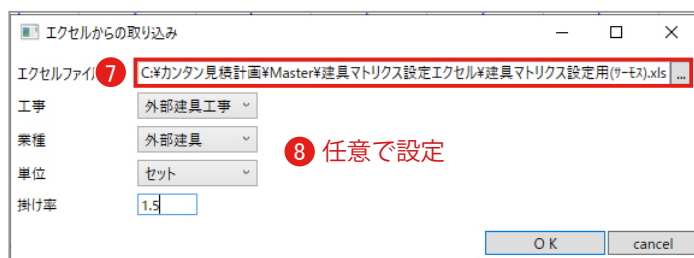
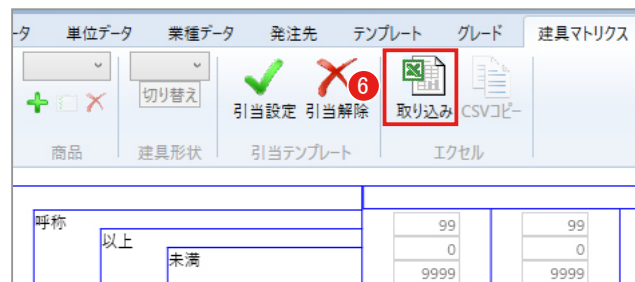
⑦ エクセルファイルを選択します。

⑧ 取り込む「工事」「業種」「単位」「掛け率」を設定し、「OK」をクリックします。

「完了しました」が表示されれば完了です。



平面形状	引違窓2枚	引違戸2枚	引違窓4枚	引違戸4枚
呼称	060	069	074	
以上	0	641	731	
未満	641	731	781	
03	0	371		
サッシ	¥41,500	¥42,100	¥42,100	
面格子	¥5,700	¥7,100	¥7,100	
内障子				
窓手摺				
シャッター				
T大分類				
T中分類				
T小分類				
名称				



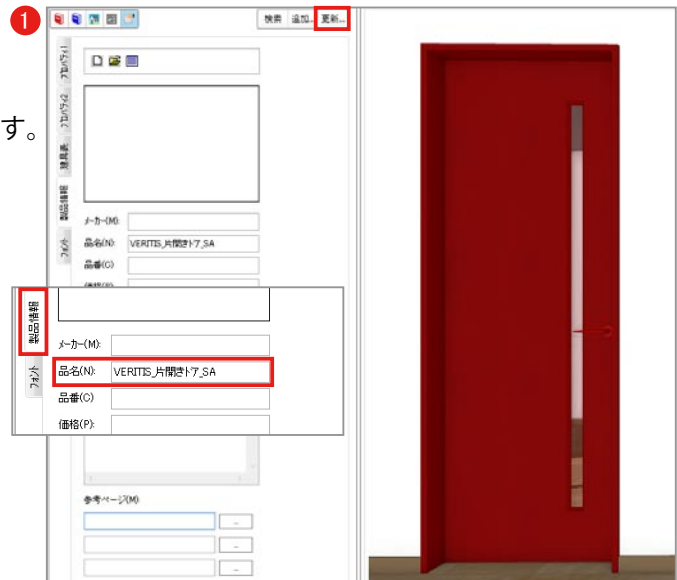
編集がおわったら画面上部の「保存」を選択し、右上の「×」で閉じます。

ウォークインホーム・プラス側であらかじめ建具に「品名」を登録すると、カンタン見積計画側でダイレクトに明細項目を引き当てることができます。

例：同じ種類・形状でも、「トイレドア」と「リビングドア」で金額を拾い分けたい等

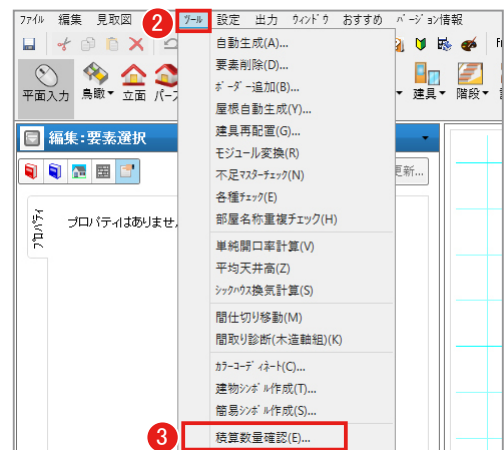
ステップ1：ウォークインホーム・プラスでの登録

- 1 建具をクリックし、プロパティ画面の「製品情報」タブを開きます。
「品名」に名称を入力し、「更新」をクリックします。



積算情報を出力します。

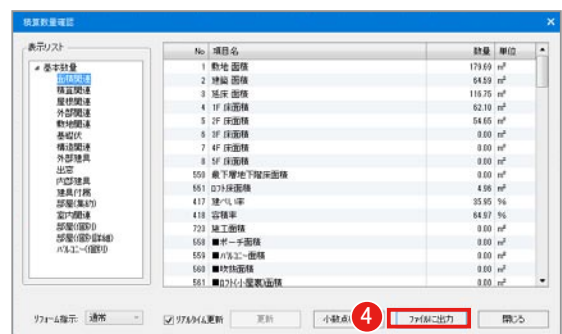
- 2 「ツール」→ 3 「積算数量確認」→
- 4 「ファイルに出力」→ 「OK」



POINT

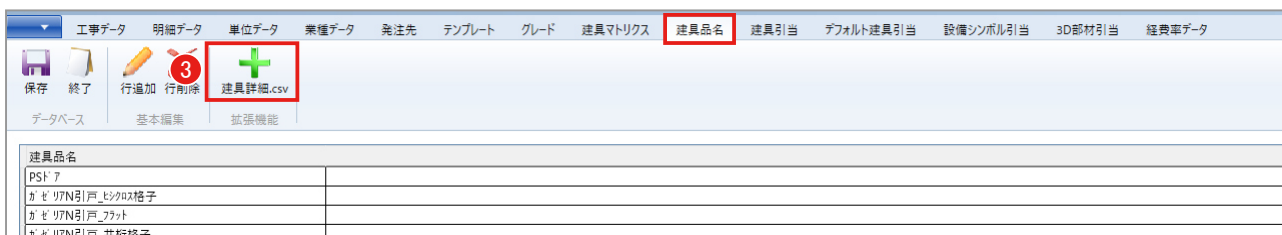
ウォークインホーム・プラスの赤い基本辞書『カンタン見積計画』タブの建具には、あらかじめ「製品情報」に「品名」が設定されています。

※「見積用」タブは『カンタン見積計画』インストールの際に追加されます。
また、「品名」の追加設定はユーザー様でも簡単に行うことができます。

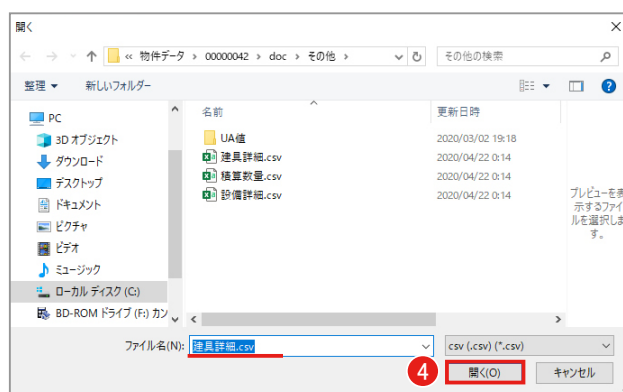


ステップ2：カンタン見積計画での登録

【保守画面】上部メニュー〈建具品名〉を開くと、建具品名の一覧が表示されます。



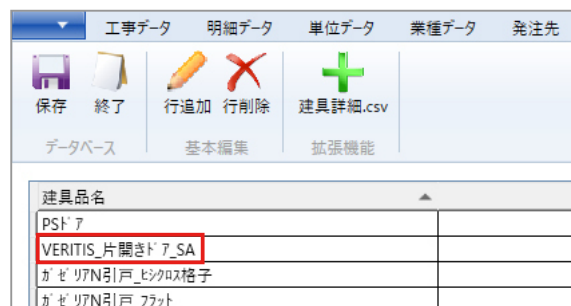
③ 上部メニューの「建具詳細.csv」をクリックし、ファイル名が「建具詳細.csv」となっていることを確認して④「開く」をクリックします。



ウォークインホーム・プラスで
新規登録した「品名」が追加されます。

POINT

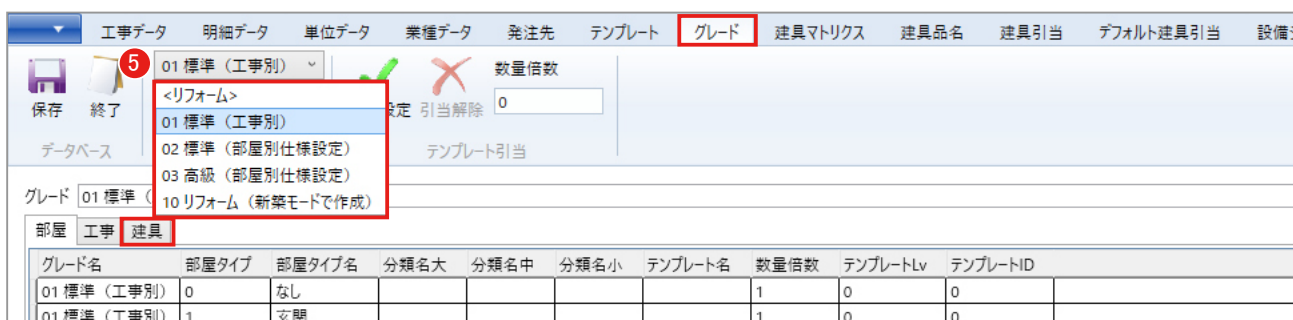
「基本辞書」の「見積用」で設定されている品名は登録されていますが、追加登録した際には「行追加」から品名登録をしてください。



ステップ3：グレードへの関連付け

追加された名称を引き当てられるように、テンプレートの設定をします。

⑤ 上部メニュー〈グレード〉を開き、取り込む「グレード」を選択し「建具」を開きます。



6-11

⑥ 「品名」欄に追加されているので
ダブルクリックし、「テンプレート選択」画面を
出します。

⑦「工事」→「外部建具工事」を選択し、
「空のテンプレート作成」をクリックします。

⑧ 「大分類」「中分類」「小分類」「テンプレート名」を設定します。

⑨「編集の許可」にチェックを入れ、「明細の追加」をクリックします。

⑩「明細の修正」をクリックし、
「明細」「仕様/適用」「数量」「単位」「業種」
「見積単価」「発注単価」を入力し、
「明細の追加登録」→「OK」

⑪「テンプレート内容」に表示されるので、「OK」で閉じます。

これで設定は完了です。

部屋 工事 建具

グレード	品名	テンプレートLv	テンプレートID	分類名大	分類名中	分類名小	テンプレート名
01 標準 (工事別)	PS1-7	99	1000328	◇ 建具登録用	外部	PS1-7	PS1-7
01 標準 (工事別)	VERITIS 片開き7-SA	0	0	◇ 建具登録用	外部		
01 標準 (工事別)	カゼリ7N引戸_ヒコ	99	1000317	◇ 建具登録用	外部		カゼリ7N引戸_ヒコ
01 標準 (工事別)	カゼリ7N引戸_フタ			◇ 建具登録用	外部		カゼリ7N引戸_フタ
01 標準 (工事別)	カゼリ7N2引戸_ヒコ			◇ 建具登録用	外部		カゼリ7N2引戸_ヒコ
01 標準	テンプレート選択						

テンプレートの選択

01 標準 工事 内部建具工事

01 標準 大分類

01 標準 中分類

01 標準 小分類

01 標準 テンプレート名

7 空のテンプレート作成 複写して

8 テンプレート名入力

工事 内部建具工事

大分類 ◇ 建具登録用

中分類 内部建具

小分類 片開

テンプレート名 ベリタス

OK キャンセル

☐ 編集の許可 明細の追加 テンプレートの挿入 行の削除 行の上移動 行の下移動 数量倍数 0

OK キャンセル

☒ 編集の許可 明細の追加 テンプレートの挿入 行の削除 行の上移動 行の下移動 数量倍数 0

OK キャンセル

明細の選択

工事	内部建具工事
明細	インサイトドア
仕様/摘要	

明細内容

工事	内部建具工事
明細	ベリテイス 片開きドア
仕様/摘要	
数量	1
単位	セット
業種	内部建具
見積単価	100000
発注単価	70000

明細の修正 明細の追加登録

OK キャンセル

テンプレート選択

テンプレートの選択

工事 内部建築工事

大分類 〇 建築設備用

中分類 内部建築

小分類 片梁

テンプレート名 〇 〇 〇 〇

元のテンプレート作成 複写してテンプレート作成

テンプレート内容

タイプ	Lv	ID	No	工事	明細名	仕座	MLv	MID	大分類	中分類	小分類	...
M	99	1000330	1	内部建築工事	〇 〇 〇 〇 片梁	...	99	2884				

☒ 複写の許可
 ☒ 明細の追加
 ☒ テンプレートの購入
 ☐ 行の削除
 ☐ 行の上移動
 ☐ 行の下移動
 数量増減: 0

ウォークインホーム・プラスで入力した建具の連動設定を行います。

「建具引当」では 建具形状、建具の幅・高さの条件からテンプレートを連動させます。

ウォークインホーム・プラスから建具の数量を拾う際に、《新築》モードか《リフォーム》モードかで建具拾い方式の設定は異なりますが、《リフォーム》モードではこの「建具引当」方式のみを使用します。

ウォークインホーム・プラスの機能『リフォーム指示』の「改築」「増築」指示によって引き当てるテンプレートを設定できます。

上部メニュー〈建具引当〉を開きます。

建具の「形状」と「W・H 範囲」などが登録されているので、その条件にあった際に引き当てるテンプレートを設定します。

形状	W以上	W未満	H以上	H未満	面格子	内障子	窓手摺	雨戸	増築用テンプレート	数量倍数	改築用テンプレート	数量倍数	増築用-Lv	増築用-ID
FIX窓	0	799	0	899	99	99	99	99	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (小)	1	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (小)	1	99	340
FIX窓	0	799	900	1199	99	99	99	99	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (中)	1	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (中)	1	99	60
FIX窓	0	799	1200	9999	99	99	99	99	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (中)	1	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (中)	1	99	60
FIX窓	800	1299	0	899	99	99	99	99	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (中)	1	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (中)	1	99	60
FIX窓	800	1299	900	1199	99	99	99	99	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (中)	1	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (中)	1	99	60
FIX窓	800	1299	1200	9999	99	99	99	99	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (大)	1	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (小)	1	99	341
FIX窓	1300	9999	0	899	99	99	99	99	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (小)	1	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (大)	1	99	340
FIX窓	1300	9999	900	1199	99	99	99	99	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (大)	1	建具/外部建具/FIX窓/FIX窓 (大)	1	99	341

条件設定

上記の表で建具拾いの条件を設定します。

形状

ウォークインホーム・プラスの建具形状を入力します。

※組み合わせ建具の場合は

「組合わせ建具 (組合わせ建具名称)」と入力します。

W 以上・W 未満・H 以上・H 未満

建具を拾い分けるサイズの範囲を入力します。

＜ウォークインホーム画面＞

種別(T): 窓

形状(S): **FIX窓**

☐ アウトセット(A) ☐ 左手前(L)

☐ シンボル(Y): なし

配置(B): **入力点** 始点 中点 終点

内外(WH): 内外(WH)

開口幅(W): 750 790

開口高(H): 750 750

開口高(H): 1000 960

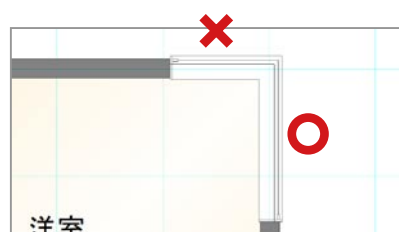
内法高(U): 2000 1980

出幅(D): 300 突合せ設定

建具枠(Z): 4方枠(固定枠) 詳細

欄間(R): なし

※コーナー FIX の W サイズに関しては、
W が長い方の寸法を条件として設定できます。



面格子、内障子、窓手摺、雨戸

ウォークインホーム・プラスで入力があった場合に拾い分けるよう、下記数値より設定します。

面格子種別	縦 1 横 2
	加 3 格子 4
内障子	有 1
窓手摺	有 1
雨戸種別	戸袋 1 片折れ 2
	両折れ 3 シャッター 4

面格子	内障子	窓手摺	雨戸
99	99	99	99
99	99	99	99
99	99	99	99
99	99	99	99
99	99	99	99
99	99	99	99
99	99	99	99
99	99	99	99
99	99	99	99

※入力なしの場合は「99」を入力してください。

増築用、改築用それぞれにテンプレートを設定します。
ウォークインホーム・プラスでリフォーム指示しない場合は、増築テンプレートが引き当てられます。

POINT

テンプレートと紐づけるため、1つのシンボルに対して複数の明細項目を連動することができます。

編集が終わったら画面上部の「保存」を選択し、右上の「×」で閉じます。

補足

ウォークインホーム・プラスで入力した建具プロパティの「配置」の設定により、出力される幅が変わります。

■「配置」が「入力点」の場合

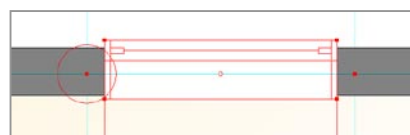
建具を入力した際の入力点をそのままの幅として出力します。

1 グリッドで入力した場合は 910 で出力します。

■「配置」が「入力点」以外の場合

開口幅が数値を入力するので、その数値をそのまま出力します。

同じ 1 グリッドでも 750 で出力します。



配置(B):	入力点	始点	中点	終点
	内外(WH)	内外(WH)		
開口幅(W):	750	790		
	750	750		

配置(B):	入力点	始点	中点	終点
	内外(WH)	内外(WH)		
開口幅(W):	750	790		
	750	750		

6-13

デフォルト建具品名

「建具品名」「建具マトリクス」で拾い漏れた建具を最終的に拾う項目を設定します。

上部メニュー〈デフォルト建具引当〉を開きます。建具形状が一覧で表示されます。

設定方法

- 1 建具形状の項目をダブルクリックすると、右のウィンドウが表示されますので、工事、大分類、中分類、小分類、テンプレート名を選択します。
- 2 「編集の許可」にチェックし、「明細の追加」をクリックすると、右のウィンドウが表示されます。
- 3 必要な項目がない場合は、下部「明細の修正」をクリックして「明細内容」欄で明細・仕様などを入力します。
- 4 「明細の追加登録」をクリックすると、新しい明細コードで追加登録されます。
- 5 「OK」で建具形状にセットされ、最終的に拾いだす明細として登録されます。

補足

通常、拾い出された建具は〈部屋別〉タブでは、建具が取りつく各部屋タブ内に挿入されますが、階段室の2階に入力したサッシは「物件 - 部屋以外」に挿入されます。

組み合わせ建具など、自由に名称設定できる建具は、その名称を「建具引当」や「建具品名 + 建具マトリクス + デフォルト建具設定」で設定しておかなければ拾われません。

拾われなかった建具は、建具名称のみ「仕様 / 概要」欄に表記します。

工事	明細名	仕様/概要	積算根拠	一式	数量	単位	単価	金額	利益率	原価	実行予算	W
外部建具工事	引違窓 2枚	LIXIL サーモスII 25611	-外部-洋室	☐	1.0	ヶ所	121,700	121,700	100.00	121,700	121,700	
		建具-引当なし 組合		☐	1.0		0	0	100.00	0	0	
内部建具工事	折戸 4枚	※引当設定なし	建具-Default	☐	1.0	セット	15,000	15,000	33.33	10,000	10,000	1
内部建具工事	折戸 4枚	※引当設定なし	建具-Default	☐	1.0	セット	15,000	15,000	33.33	10,000	10,000	1

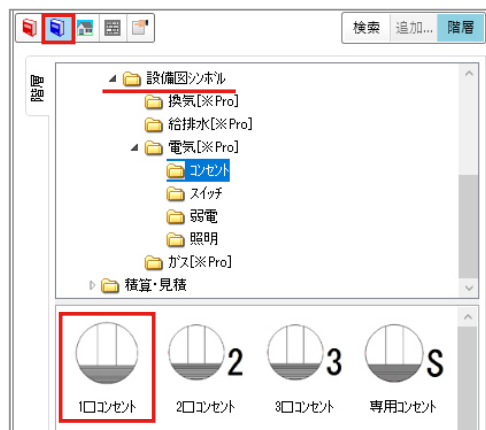
ウォークインホーム・プラスで入力した「設備シンボル」を連動するための設定をします。

『設備シンボル』とは、ウォークインホーム・プラスの「プロフェッショナル版」で入力するコンセントやスイッチ、換気扇や給排水記号のことを指します。

POINT

ウォークインホーム・プラスで入力した「設備シンボル」のファイル名とカンタン見積計画の「設備シンボル引当」のシンボル名はリンクしています。

＜ウォークインホーム画面＞



上部メニュー〈設備シンボル引当〉を開くと、設備シンボルの一覧が表示されます。

▼ 工事データ 明細データ 単位データ 業種データ 発注先 テンプレート グレード 建具マトリクス 建具品名 建具引当 デフォルト建具引当 設備シンボル引当 3D部材引当 経費率データ									
保存 終了 行追加 行削除 引当設定 引当解除 設備シンボル.csv データベース 基本編集 引当テンプレート 拡張機能									
分類	シンボル名	テンプレート	数量	倍率	発行Lv	TemplID			
電気	1口コンセント	設備シンボル/電気/コンセント/1口コンセント	1	99	393				
電気	2口コンセント	設備シンボル/電気/コンセント/2口コンセント	1	99	394				
電気	3口コンセント	設備シンボル/電気/コンセント/3口コンセント	1	99	395				
電気	3分遅れスイッチ（P L 付）	設備シンボル/電気/スイッチ/3分遅れスイッチ（P L 付）	1	99	400				

① ダブルクリック

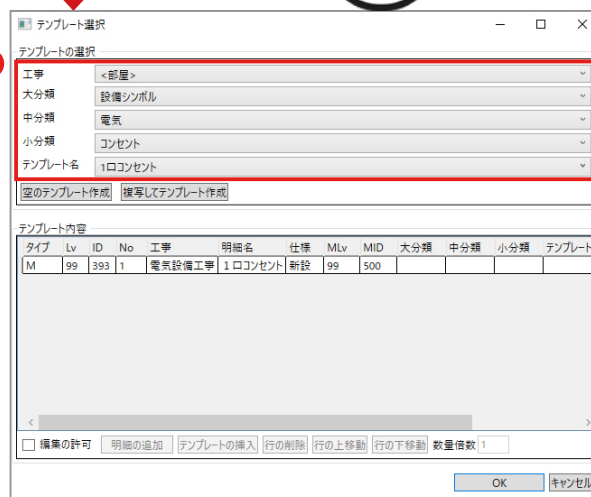
① あらかじめシンボル名が登録されているので、その設備シンボルと連動するテンプレートをダブルクリックで選択します。

② 「シンボル名」を選択した状態で、「大分類」→「中分類」→「小分類」→「名称」の順に連動するテンプレートを選択します。

POINT

テンプレートと紐づけるため、1つのシンボルに対して複数の明細項目を連動することができます。（例：コンセント本体と、取付費など）

②



編集が終わったら画面上部の「保存」を選択し、右上の「×」で閉じます。

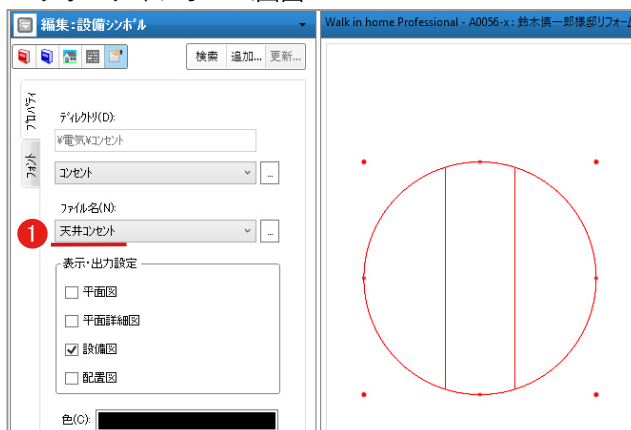
シンボル名をカンタン見積へ取り込み

また、ウォークインホーム・プラスで自社仕様として登録した設備シンボルを一括で〈設備シンボル引当〉へ取り込むことができます。

ウォークインホーム・プラスより、

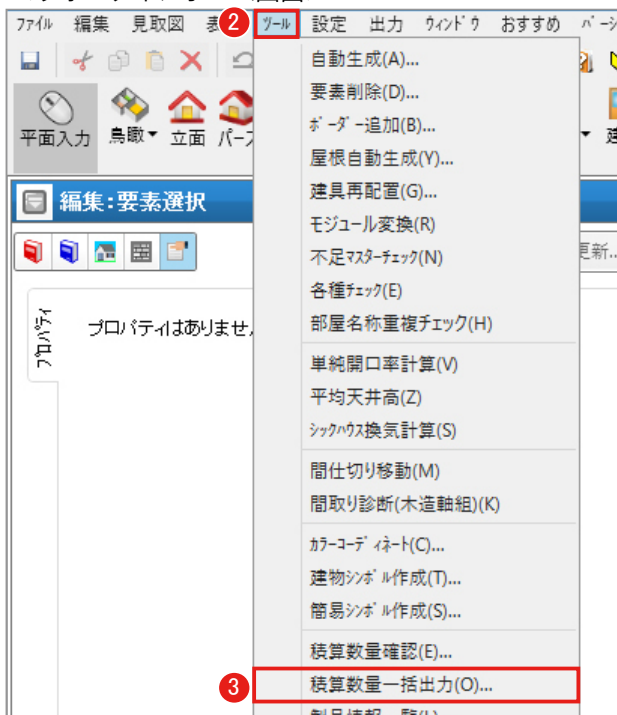
- ① 設備シンボルを入力します。

＜ウォークインホーム画面＞



- ② 「ツール」 →
- ③ 「積算確認一括出力」をクリックします。

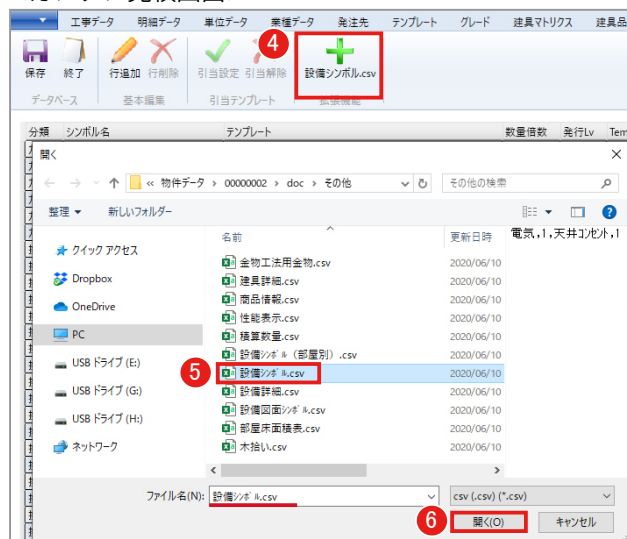
＜ウォークインホーム画面＞



カンタン見積計画より、〈設備シンボル引当〉で

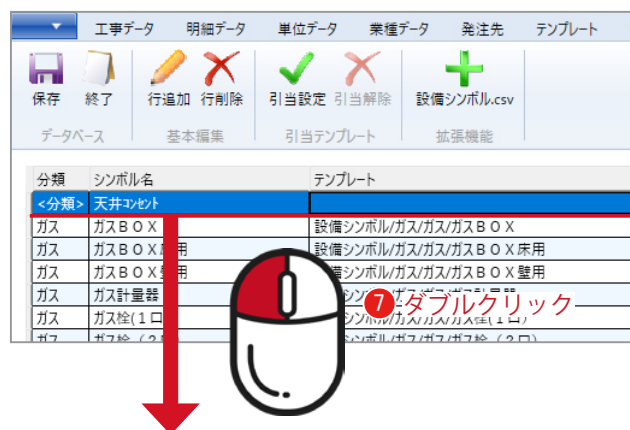
- ④ 上部メニュー「+ 設備シンボル.csv」をクリックし
 ⑤ 「設備シンボル.csv」を選び、⑥ 「開く」をクリックすると一括で取り込むことができます。

＜カンタン見積画面＞



登録したシンボル名が追加されるので、

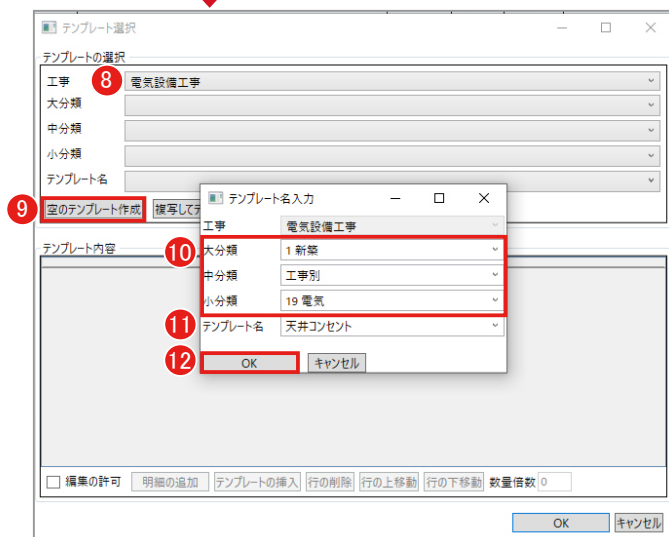
- ⑦ その設備シンボルと連動するテンプレートをダブルクリックで選択します。



「テンプレート選択」画面より、

- ⑧ 任意の工事を選び、⑨ 「空のテンプレート作成」をクリックします。

- 次に、⑩ 「大分類」→「中分類」→「小分類」の順に連動するテンプレートを選択して
 ⑪ 任意でテンプレート名を入力し、⑫ 「OK」をクリックします。



6-14

- ⑬「編集の許可」にチェックを入れ、
- ⑭「明細の追加」をクリックします。

そして、⑮「明細の修正」をクリックし、
 ⑯「明細」「仕様 / 適用」「数量」「単位」「業種」
 「見積単価」「発注単価」を入力し、
 ⑰「明細の追加登録」→⑱「OK」をクリックします。

「テンプレート内容」に表示されるので、
 ⑲「OK」で閉じます。

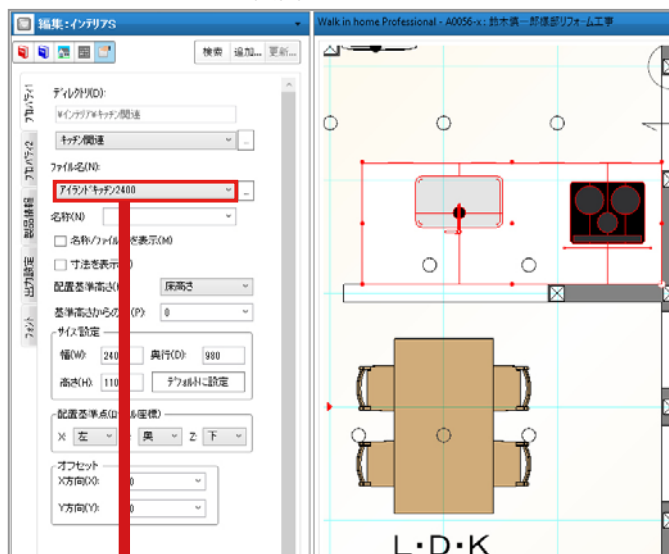
編集が終わったら画面上部の「保存」を選択し、右上の「×」で閉じます。

3D 部材引当

ウォークインホーム・プラスで入力した「3D シンボル」を連動します。

＜ウォークインホーム画面＞

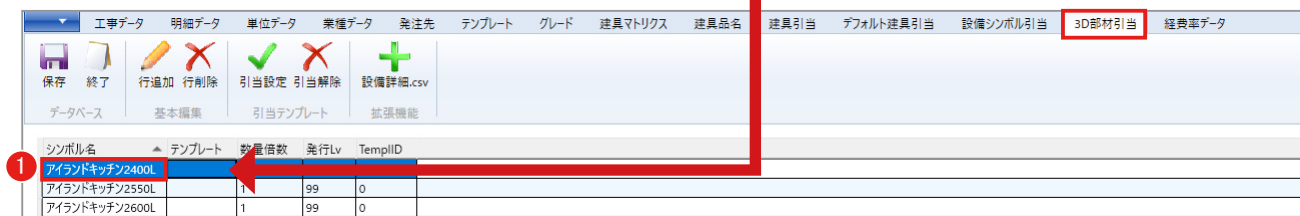
『3D シンボル』とは、ウォークインホーム・プラスで入力したインテリアシンボル・エクステリアシンボル・照明器具などを指します。



基本操作

上部メニュー〈3D 部材引当〉タブを開きます。

①あらかじめシンボル名が登録されているので、その設備シンボルと連動するテンプレートを選択します。

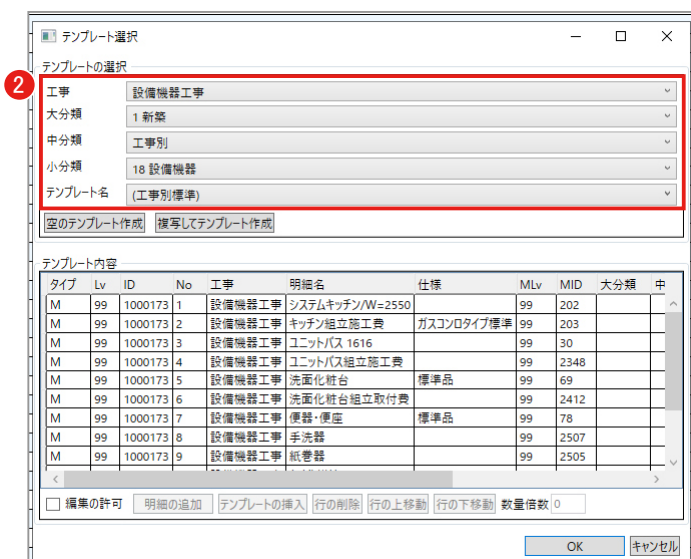


②「シンボル名」を選択した状態で、
「大分類」→「中分類」→「小分類」→「名称」
の順に連動するテンプレートを選択します。

POINT

テンプレートと紐づけるため、1つのシンボルに対して複数の明細項目を連動することができます。

(例：キッチン本体と、取付費など)



編集が終わったら画面上部の「保存」を選択し、右上の「×」で閉じます。

シンボル名をカンタン見積へ取り込み

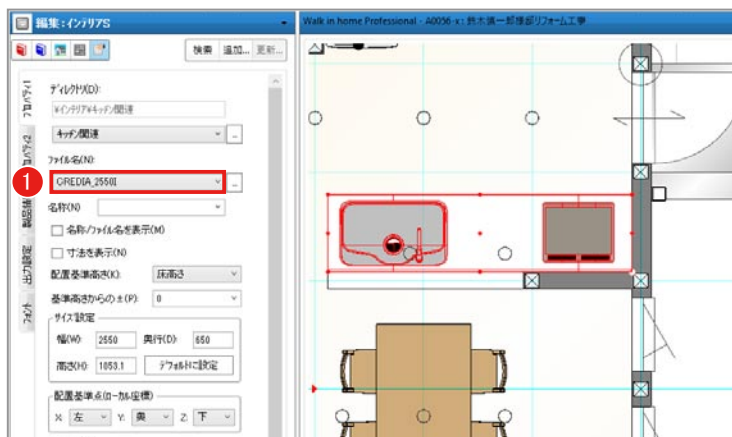
また、ウォークインホーム・プラスで自社仕様として登録した設備シンボルを一括で【保守画面】〈設備シンボル引当〉へ流すことができます。

＜ウォークインホーム画面＞

ウォークインホーム・プラスより、

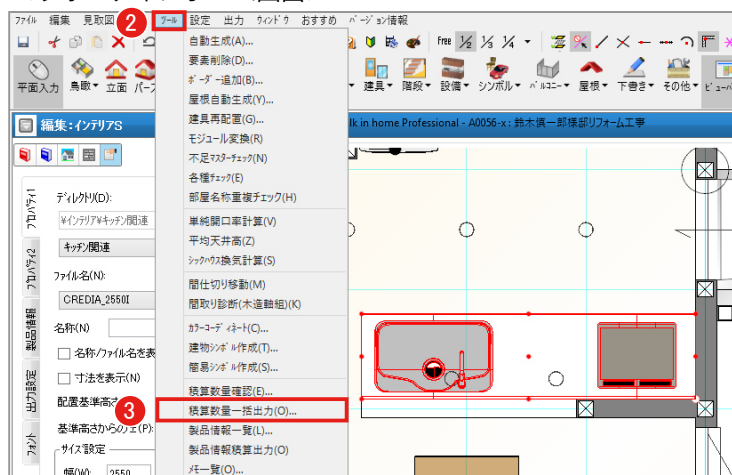
① 3D シンボルを入力します。

※ 設備シンボル引当のような品名等の
入力は不要です。



＜ウォークインホーム画面＞

② 「ツール」→ ③ 「積算数量一括出力」を
クリックします。



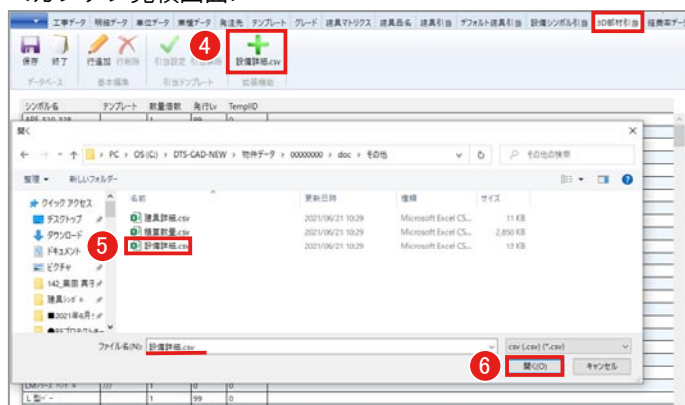
＜カンタン見積画面＞

カンタン見積計画より、〈3D 部材引当〉で

④ 上部メニュー「+ 設備詳細.csv」をクリックし

⑤ 「設備詳細.csv」を選び、⑥ 「開く」を

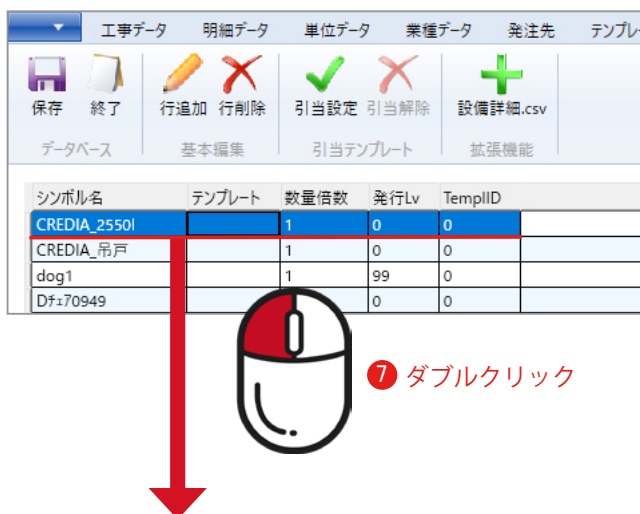
クリックすると一括で取り込むことができます。



6-15

登録したシンボル名が追加されるので、

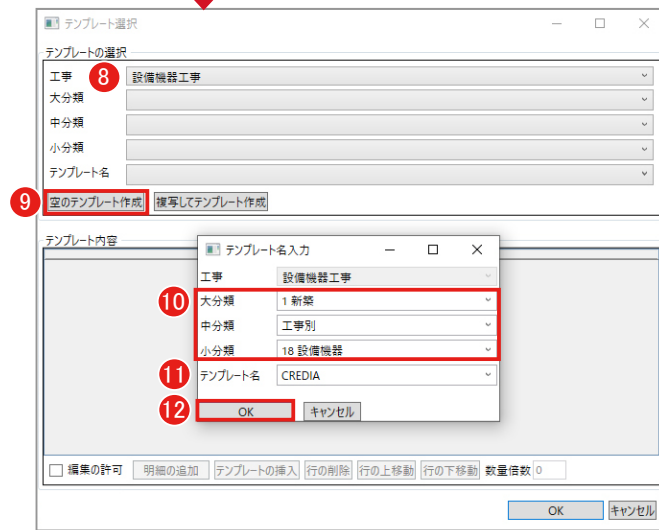
- ⑦ その設備シンボルと連動するテンプレートをダブルクリックで選択します。



⑦ ダブルクリック

「テンプレート選択」画面より、

- ⑧ 任意の工事を選び、⑨ 「空のテンプレート作成」をクリックします。



次に、⑩ 「大分類」→「中分類」→「小分類」の順に連動するテンプレートを選択して

- ⑪ 任意でテンプレート名を入力し、⑫ 「OK」をクリックします。

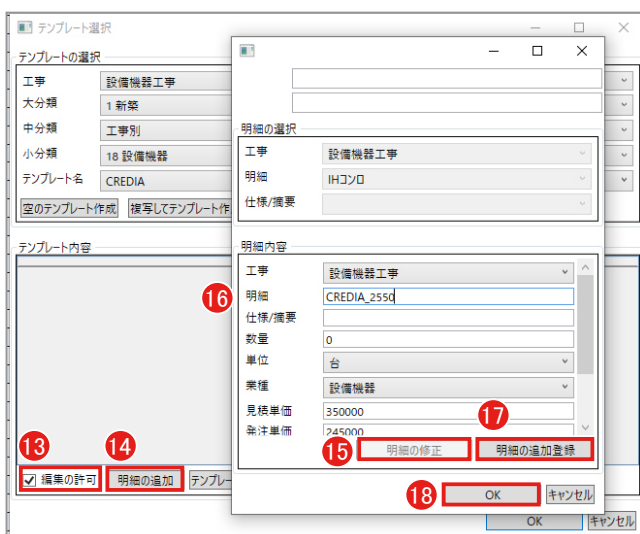
- ⑬ 「編集の許可」にチェックを入れ、

- ⑭ 「明細の追加」をクリックします。

- ⑮ 「明細の修正」をクリックして

- ⑯ 「明細」「仕様 / 適用」「数量」「単位」「業種」「見積単価」「発注単価」を入力し、

- ⑰ 「明細の追加登録」→⑱ 「OK」をクリックします。



6-15

「テンプレート内容」に表示されるので、

19 「OK」で閉じます。

テンプレート選択

テンプレートの選択

工事: 設備機器工事

大分類: 1 新築

中分類: 工事別

小分類: 18 設備機器

テンプレート名: CREDIA

空のテンプレート作成 様式してテンプレート作成

テンプレート内容

タイプ	Lv	ID	No	工事	明細名	仕様	MLv	MID	大分類	中分類	小分類	テンプ
M	99	1000330	1	設備機器工事	CREDIA_2550		99	201				

< >

☒ 編集の許可 明細の追加 テンプレートの挿入 行の削除 行の上移動 行の下移動 数量倍数 0

19 OK キャンセル

編集が終わったら画面上部の「保存」を選択し、右上の「×」で閉じます。

【見積作成画面】より〈集計〉タブの経費率の基本設定をします。

経費率は【見積作成画面】の〈集計〉タブでも変更できますが、【保守画面】でもデフォルトとして登録することが可能です。

データベース					
保存	終了				
No	名称	表示名	率(%)	説明	
1	諸経費	諸経費	10	見積に反映：（見積金額）× 諸経費	
2	社内経費 1	社内経費1	0	原価に反映：（見積金額+諸経費-値引き）× 社内経費 1	
3	社内経費 2	社内経費2	0	原価に反映：（見積金額+諸経費-値引き）× 社内経費 2	
4	社内経費 3	社内経費 3	0		
11	材-見積掛け率	材-見積掛け率	0	材-見積掛け率	

各項目の詳細

諸経費

見積工事金額 × 経費率

を見積金額（＝お客様へ提示する工事金額）に加算します。

＜保守画面＞

No	名称	表示名	率(%)	説明
1	諸経費	諸経費	10	見積に反映：（見積金額）× 諸経費
2	社内経費 1	社内経費1	0	原価に反映：（見積金額+諸経費-値引き）× 社内経費 1
3	社内経費 2	社内経費2	0	原価に反映：（見積金額+諸経費-値引き）× 社内経費 2
4	社内経費 3	社内経費 3	0	
11	材-見積掛け率	材-見積掛け率	0	材-見積掛け率
12	工-見積掛け率	工-見積掛け率	0	工-見積掛け率

社内経費 1、2

（見積工事金額 + 諸経費 - 値引き）× 経費率

を実行金額（＝原価）に加算します。

※ 予備費などを決めた経費率で
加算する場合などに使用します。

＜カンタン見積計画〈集計〉タブ＞

	見積金額	実行金額	粗利	利益率
工事金額	0	0	0	
諸経費 %	10.0			
社内経費 1	0.0	0		
社内経費 2	0.0	0		
社内経費 3		0	0	
材-経費	0.0	0	0.0	0
工-経費	0.0	0	0.0	0
材工-経費	0.0	0	0.0	0
計	0	0	0	
値引き	0	0		
計(税別)	0	0	0	0.00
消費税 %	10	0		
計(税込)	0			

社内経費 3

「率 (%)」は入力不要です。

基本的に【見積作成画面】の〈集計〉タブで
直接 金額を記入します。

※ 「諸経費」や「社内経費 1、2」以外で
経費を加算する必要がある場合に使用します。

編集が終わったら画面上部の「保存」を選択し、右上の「×」で閉じます。